

# be English Logic and Expression II Smart New Edition

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。  
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

## LESSON 1 Future Plans

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時制を正しく用いて表現することができる。</li> <li>・将来の夢について話したり書いたりすることができる。</li> <li>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢が見られる。</li> </ul>
-------------	--

		話す (やり取り)	話す (発表)	書く
知識・技能	<b>目標</b>	<知識> 時制の意味や働きについて理解している。(TASK-A/D) <技能> 時制を用いて、興味のあることや将来の夢について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A/D)	<知識> 時制の意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 時制を用いて、最近始めたことについて、話す技能を身につけている。(TASK-C)	<知識> 時制の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 時制を用いて、10年後の自分について、書く技能を身につけている。(WRITE)
	<b>a</b>	時制を適切に用いて、興味のあることや将来の夢について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	時制の表現を適切に用いて、最近始めたことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	時制を用いて、10年後の自分について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	<b>b</b>	時制を用いて、興味のあることや将来の夢について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	時制の表現を適切に用いて、最近始めたことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	時制を用いて、10年後の自分について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、時制を用いて、興味のあることや将来の夢について、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、時制の表現を用いて、最近始めたことについて、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、時制を用いて、10年後の自分について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	<b>目標</b>	興味のあることや将来の夢についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A/D) (SHARE)	最近始めたことについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(TASK-C)	10年後の自分についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	<b>a</b>	興味のあることや将来の夢についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	最近始めたことについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	10年後の自分についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。
	<b>b</b>	興味のあることや将来の夢についての情報を、話して伝え合うことができる。	最近始めたことについての情報を、話すことができる。	10年後の自分についての考えを、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、興味のあることや将来の夢についての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、最近始めたことについての情報を、話すことができる。	助けがあれば、10年後の自分についての考えを、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	<b>目標</b>	将来の夢についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	将来の夢についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	10年後の自分についての考えを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	<b>a</b>	将来の夢についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	将来の夢についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	10年後の自分についての考えを、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	<b>b</b>	将来の夢についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	将来の夢についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	10年後の自分についての考えを、書こうとする態度が見られる。
	<b>c</b>	助けがあれば、将来の夢についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、将来の夢についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、10年後の自分についての考えを、何とか書こうとする態度が見られる。

# be English Logic and Expression II Smart New Edition

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。  
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

## LESSON 2 Free Time

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名詞句や名詞節を正しく用いて表現することができる。</li> <li>・時間の過ごし方について話したり書いたりすることができる。</li> <li>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。</li> </ul>
-------------	--

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く		
知識・技能	<b>目標</b>	<知識> 不定詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 不定詞を用いて、家での時間の過ごし方や週末の予定について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A)	<知識> 動名詞や名詞節の意味や働きについて理解している。(TASK-B/D) <技能> 動名詞を用いて、自分の趣味について、話す技能を身につけている。(TASK-B/D)	<知識> 不定詞を使う表現の意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 不定詞を使う表現を用いて、自由な時間の過ごし方について、書く技能を身につけている。(TASK-C)		
	<b>a</b>	不定詞を適切に用いて、家での時間の過ごし方や週末の予定について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	<b>a</b>	動名詞や名詞節の表現を適切に用いて、自分の趣味について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	<b>a</b>	不定詞を使う表現を用いて、自由な時間の過ごし方について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	<b>b</b>	不定詞を用いて、家での時間の過ごし方や週末の予定について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	<b>b</b>	動名詞や名詞節の表現を適切に用いて、自分の趣味について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	<b>b</b>	不定詞を使う表現を用いて、自由な時間の過ごし方について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、不定詞を用いて、家での時間の過ごし方や週末の予定について、何とか英語で伝え合うことができる。	<b>c</b>	助けがあれば、動名詞や名詞節の表現を用いて、自分の趣味について、何とか英語で話すことができる。	<b>c</b>	助けがあれば、不定詞を使う表現を用いて、自由な時間の過ごし方について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	<b>目標</b>	家での時間の過ごし方や週末の予定についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A, SHARE)	<b>目標</b>	自分の趣味についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(TASK-B/D)	<b>目標</b>	自由な時間の過ごし方についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(TASK-C) (WRITE)
	<b>a</b>	家での時間の過ごし方や週末の予定についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	<b>a</b>	自分の趣味についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	<b>a</b>	自由な時間の過ごし方についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	<b>b</b>	家での時間の過ごし方や週末の予定についての情報を、話して伝え合うことができる。	<b>b</b>	自分の趣味についての情報を、話すことができる。	<b>b</b>	自由な時間の過ごし方についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、家での時間の過ごし方や週末の予定についての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	<b>c</b>	助けがあれば、自分の趣味についての情報を、話すことができる。	<b>c</b>	助けがあれば、自由な時間の過ごし方についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	<b>目標</b>	家での時間の過ごし方についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	<b>目標</b>	家での時間の過ごし方についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	<b>目標</b>	自由な時間の過ごし方についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	<b>a</b>	家での時間の過ごし方についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	<b>a</b>	家での時間の過ごし方についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	<b>a</b>	自由な時間の過ごし方についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	<b>b</b>	家での時間の過ごし方についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	<b>b</b>	家での時間の過ごし方についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	<b>b</b>	自由な時間の過ごし方についての情報を、書こうとする態度が見られる。
	<b>c</b>	助けがあれば、家での時間の過ごし方についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	<b>c</b>	助けがあれば、家での時間の過ごし方についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	<b>c</b>	助けがあれば、自由な時間の過ごし方についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

# be English Logic and Expression II Smart New Edition

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目をお使いください。  
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

## LESSON 3 Student Life

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助動詞を正しく用いて表現することができる。</li> <li>・学校生活について話したり書いたりすることができる。</li> <li>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。</li> </ul>
-------------	---

		話す (やり取り)	話す (発表)	書く
知識・技能	<b>目標</b>	<知識> 助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A/B) <技能> 助動詞を用いて、修学旅行の行先や今週の宿題について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A/B)	<知識> 助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 助動詞を用いて、だれが適任かについて、話す技能を身につけている。(TASK-C)	<知識> 助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 助動詞を用いて、イラストの状況について、書く技能を身につけている。(TASK-D)
	<b>a</b>	助動詞を適切に用いて、修学旅行の行先や今週の宿題について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	助動詞の表現を適切に用いて、だれが適任かについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	助動詞を用いて、イラストの状況について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	<b>b</b>	助動詞を用いて、修学旅行の行先や今週の宿題について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	助動詞の表現を適切に用いて、だれが適任かについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	助動詞を用いて、イラストの状況について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、助動詞を用いて、修学旅行の行先や今週の宿題について、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、助動詞の表現を用いて、だれが適任かについて、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、助動詞を用いて、イラストの状況について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	<b>目標</b>	修学旅行の行先や今週の宿題についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A/B)	だれが適任かについての情報を、論理的に詳しく話することができる。(TASK-C)	イラストの状況についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(TASK-D)
	<b>a</b>	修学旅行の行先や今週の宿題についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	だれが適任かについての情報を、論理的に詳しく話することができる。	イラストの状況についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	<b>b</b>	修学旅行の行先や今週の宿題についての情報を、話して伝え合うことができる。	だれが適任かについての情報を、話すことができる。	イラストの状況についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、修学旅行の行先や今週の宿題についての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、だれが適任かについての情報を、話すことができる。	助けがあれば、イラストの状況についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	<b>目標</b>	「すべきだったこと/すべきでなかったこと」についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	過去の経験から学べることについての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	後悔していることについての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	<b>a</b>	「すべきだったこと/すべきでなかったこと」についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	過去の経験から学べることについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	後悔していることについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	<b>b</b>	「すべきだったこと/すべきでなかったこと」についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	過去の経験から学べることについての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	後悔していることについての情報を、書こうとする態度が見られる。
	<b>c</b>	助けがあれば、「すべきだったこと/すべきでなかったこと」についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、過去の経験から学べることについての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、後悔していることについての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

# be English Logic and Expression II Smart New Edition

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目をお使いください。  
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

## LESSON 4 What You've Learned through Experience

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形容詞や分詞を正しく用いて表現することができる。</li> <li>・体験から学んだことについて話したり書いたりすることができる。</li> <li>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。</li> </ul>
-------------	---

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
知識・技能	<b>目標</b>	<知識> 形容詞や分詞の意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 形容詞や分詞を用いて、文化祭でやったことについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-C)	<知識> 形容詞や分詞の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 形容詞や分詞を用いて、文化祭でやったことについて、話す技能を身につけている。(TASK-B)	<知識> 形容詞や分詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A/D) <技能> 形容詞や分詞を用いて、最近行った興味深い活動について、書く技能を身につけている。(TASK-A/D)
	<b>a</b>	形容詞や分詞を適切に用いて、文化祭でやったことについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	形容詞や分詞の表現を適切に用いて、文化祭でやったことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	形容詞や分詞を用いて、最近行った興味深い活動について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	<b>b</b>	形容詞や分詞を用いて、文化祭でやったことについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	形容詞や分詞の表現を適切に用いて、文化祭でやったことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	形容詞や分詞を用いて、最近行った興味深い活動について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、形容詞や分詞を用いて、文化祭でやったことについて、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、形容詞や分詞の表現を用いて、文化祭でやったことについて、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、形容詞や分詞を用いて、最近行った興味深い活動について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	<b>目標</b>	学校行事を通して学んだことについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(SHARE)	学校行事を通して学んだことについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	印象に残った行事についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	<b>a</b>	学校行事を通して学んだことについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	学校行事を通して学んだことについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	印象に残った行事についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	<b>b</b>	学校行事を通して学んだことについての情報を、話して伝え合うことができる。	学校行事を通して学んだことについての情報を、話すことができる。	印象に残った行事についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、学校行事を通して学んだことについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、学校行事を通して学んだことについての情報を、話すことができる。	助けがあれば、印象に残った行事についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	<b>目標</b>	学校行事を通して学んだことについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	学校行事を通して学んだことについての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	印象に残った行事についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	<b>a</b>	学校行事を通して学んだことについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	学校行事を通して学んだことについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	印象に残った行事についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	<b>b</b>	学校行事を通して学んだことについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	学校行事を通して学んだことについての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	印象に残った行事についての情報を、書こうとする態度が見られる。
	<b>c</b>	助けがあれば、学校行事を通して学んだことについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、学校行事を通して学んだことについての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、印象に残った行事についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

# be English Logic and Expression II Smart New Edition

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。  
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

## LESSON 5 Modern Conveniences

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形容詞句を正しく用いて表現することができる。</li> <li>・現代社会の利便性について話したり書いたりすることができる。</li> <li>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。</li> </ul>
-------------	--

		話す (やり取り)	話す (発表)	書く
知識・技能	<b>目標</b>	<知識> 形容詞句の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 形容詞句を用いて、スマートフォンの修理について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A)	<知識> 形容詞句の意味や働きについて理解している。(TASK-B/C) <技能> 形容詞句を用いて、投稿写真の描写や使っているオンラインサービスについて、話す技能を身につけている。(TASK-B/C)	<知識> 形容詞句の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 形容詞句を用いて、デバイスや技術が10年後どうなるかについて、書く技能を身につけている。(TASK-D)
	<b>a</b>	形容詞句を適切に用いて、スマートフォンの修理について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	形容詞句の表現を適切に用いて、投稿写真の描写や使っているオンラインサービスについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	形容詞句を用いて、デバイスや技術が10年後どうなるかについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	<b>b</b>	形容詞句を用いて、スマートフォンの修理について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	形容詞句の表現を適切に用いて、投稿写真の描写や使っているオンラインサービスについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	形容詞句を用いて、デバイスや技術が10年後どうなるかについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、形容詞句を用いて、スマートフォンの修理について、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、形容詞句の表現を用いて、投稿写真の描写や使っているオンラインサービスについて、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、形容詞句を用いて、デバイスや技術が10年後どうなるかについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	<b>目標</b>	スマートデバイスについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(SHARE)	スマートデバイスについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	便利なデバイスについての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	<b>a</b>	スマートデバイスについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	スマートデバイスについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	便利なデバイスについての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	<b>b</b>	スマートデバイスについての情報を、話して伝え合うことができる。	スマートデバイスについての情報を、話すことができる。	便利なデバイスについての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、スマートデバイスについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、スマートデバイスについての情報を、話すことができる。	助けがあれば、便利なデバイスについての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	<b>目標</b>	スマートデバイスについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	スマートデバイスについての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	便利なデバイスについての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	<b>a</b>	スマートデバイスについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	スマートデバイスについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	便利なデバイスについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	<b>b</b>	スマートデバイスについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	スマートデバイスについての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	便利なデバイスについての情報を、書こうとする態度が見られる。
	<b>c</b>	助けがあれば、スマートデバイスについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、スマートデバイスについての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、便利なデバイスについての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

# be English Logic and Expression II Smart New Edition

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目をお使いください。  
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

## LESSON 6 Sharing Information

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係代名詞や関係副詞を正しく用いて表現することができる。</li> <li>・情報共有について話したり書いたりすることができる。</li> <li>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。</li> </ul>
-------------	--

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
知識・技能	<b>目標</b>	<知識> 関係代名詞の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 関係代名詞を用いて、興味のある話題について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-B)	<知識> 関係詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A/C) <技能> 関係詞を用いて、好きなアーティストや紹介したい場所について、話す技能を身につけている。(TASK-A/C)	<知識> 関係副詞の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 関係副詞を用いて、特別なことが起こったときと場所について、書く技能を身につけている。(TASK-D)
	<b>a</b>	関係代名詞を適切に用いて、興味のある話題について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	関係詞の表現を適切に用いて、好きなアーティストや紹介したい場所について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	関係副詞を用いて、特別なことが起こったときと場所について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	<b>b</b>	関係代名詞を用いて、興味のある話題について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	関係詞の表現を適切に用いて、好きなアーティストや紹介したい場所について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	関係副詞を用いて、特別なことが起こったときと場所について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、関係代名詞を用いて、興味のある話題について、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、関係詞の表現を用いて、好きなアーティストや紹介したい場所について、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、関係副詞を用いて、特別なことが起こったときと場所について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	<b>目標</b>	興味のある話題についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-B)	好きなアーティストや紹介したい場所についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(TASK-A/C)	印象深いニュースについての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	<b>a</b>	興味のある話題についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	好きなアーティストや紹介したい場所についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	印象深いニュースについての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	<b>b</b>	興味のある話題についての情報を、話して伝え合うことができる。	好きなアーティストや紹介したい場所についての情報を、話すことができる。	印象深いニュースについての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、興味のある話題についての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、好きなアーティストや紹介したい場所についての情報を、話すことができる。	助けがあれば、印象深いニュースについての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	<b>目標</b>	フェイクニュースについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	フェイクニュースについての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	印象深いニュースについての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	<b>a</b>	フェイクニュースについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	フェイクニュースについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	印象深いニュースについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	<b>b</b>	フェイクニュースについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	フェイクニュースについての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	印象深いニュースについての情報を、書こうとする態度が見られる。
	<b>c</b>	助けがあれば、フェイクニュースについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、フェイクニュースについての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、印象深いニュースについての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

# be English Logic and Expression II Smart New Edition

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目をお使いください。  
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

## LESSON 7 Languages and Cultures

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副詞を正しく用いて表現することができる。</li> <li>・ことばと文化について話したり書いたりすることができる。</li> <li>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。</li> </ul>
-------------	--

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
知識・技能	<b>目標</b>	<知識> 副詞の意味や働きについて理解している。(TASK-B/C) <技能> 副詞を用いて、日本語と英語の表現の違いについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-B/C)	<知識> 副詞の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 副詞を用いて、グローバル社会における英語でのコミュニケーションの重要性について、話す技能を身につけている。(TASK-D)	<知識> 副詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 副詞を用いて、日本語学習者の数について、書く技能を身につけている。(TASK-A)
	<b>a</b>	副詞を適切に用いて、日本語と英語の表現の違いについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	副詞の表現を適切に用いて、グローバル社会における英語でのコミュニケーションの重要性について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	副詞を用いて、日本語学習者の数について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	<b>b</b>	副詞を用いて、日本語と英語の表現の違いについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	副詞の表現を適切に用いて、グローバル社会における英語でのコミュニケーションの重要性について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	副詞を用いて、日本語学習者の数について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、副詞を用いて、日本語と英語の表現の違いについて、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、副詞の表現を用いて、グローバル社会における英語でのコミュニケーションの重要性について、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、副詞を用いて、日本語学習者の数について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	<b>目標</b>	日本語と英語の表現の違いについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-B/C)	世界言語としての英語についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	英語の公用語化についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	<b>a</b>	日本語と英語の表現の違いについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	世界言語としての英語についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	英語の公用語化についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。
	<b>b</b>	日本語と英語の表現の違いについての情報を、話して伝え合うことができる。	世界言語としての英語についての情報を、話すことができる。	英語の公用語化についての考えを、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、日本語と英語の表現の違いについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、世界言語としての英語についての情報を、話すことができる。	助けがあれば、英語の公用語化についての考えを、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	<b>目標</b>	日本語と英語の表現の違いについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-B/C)	世界言語としての英語についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	英語の公用語化についての考えを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	<b>a</b>	日本語と英語の表現の違いについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	世界言語としての英語についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	英語の公用語化についての考えを、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	<b>b</b>	日本語と英語の表現の違いについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	世界言語としての英語についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	英語の公用語化についての考えを、書こうとする態度が見られる。
	<b>c</b>	助けがあれば、日本語と英語の表現の違いについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、世界言語としての英語についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、英語の公用語化についての考えを、何とか書こうとする態度が見られる。

# be English Logic and Expression II Smart New Edition

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目をお使いください。  
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

## LESSON 8 Emotions and the Workings of the Mind

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>副詞句を正しく用いて表現することができる。</li> <li>感情と心のはたらきについて話したり書いたりすることができる。</li> <li>意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。</li> </ul>
-------------	---

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
知識・技能	<b>目標</b>	<知識> 副詞句の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 副詞句を用いて、幸せになるためにすることについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A)	<知識> 副詞句の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 副詞句を用いて、幸せになるためのアドバイスについて、話す技能を身につけている。(TASK-B)	<知識> 副詞句の意味や働きについて理解している。(TASK-C/D) <技能> 副詞句を用いて、幸せな経験などについて、書く技能を身につけている。(TASK-C/D)
	<b>a</b>	副詞句を適切に用いて、幸せになるためにすることについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	副詞句の表現を適切に用いて、幸せになるためのアドバイスについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	副詞句を用いて、幸せな経験などについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	<b>b</b>	副詞句を用いて、幸せになるためにすることについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	副詞句の表現を適切に用いて、幸せになるためのアドバイスについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	副詞句を用いて、幸せな経験などについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、副詞句を用いて、幸せになるためにすることについて、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、副詞句の表現を用いて、幸せになるためのアドバイスについて、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、副詞句を用いて、幸せな経験などについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	<b>目標</b>	幸せになるためにする行動についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(SHARE)	幸せを感じる時についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	周りの人の幸せについての経験を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	<b>a</b>	幸せになるためにする行動についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	幸せを感じる時についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	周りの人の幸せについての経験を、論理的に詳しく書くことができる。
	<b>b</b>	幸せになるためにする行動についての情報を、話して伝え合うことができる。	幸せを感じる時についての情報を、話すことができる。	周りの人の幸せについての経験を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、幸せになるためにする行動についての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、幸せを感じる時についての情報を、話すことができる。	助けがあれば、周りの人の幸せについての経験を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	<b>目標</b>	幸せになるためにする行動についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	幸せを感じる時についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	周りの人の幸せについての経験を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	<b>a</b>	幸せになるためにする行動についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	幸せを感じる時についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	周りの人の幸せについての経験を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	<b>b</b>	幸せになるためにする行動についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	幸せを感じる時についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	周りの人の幸せについての経験を、書こうとする態度が見られる。
	<b>c</b>	助けがあれば、幸せになるためにする行動についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、幸せを感じる時についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、周りの人の幸せについての経験を、何とか書こうとする態度が見られる。

# be English Logic and Expression II Smart New Edition

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目をお使いください。  
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

## LESSON 9 What Exactly Does Leadership Mean?

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>副詞節を正しく用いて表現することができる。</li> <li>リーダーシップの意味について話したり書いたりすることができる。</li> <li>意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。</li> </ul>
-------------	--

		話す (やり取り)	話す (発表)	書く
知識・技能	<b>目標</b>	<知識> 副詞節の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 副詞節を用いて、リーダーシップを発揮するときについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A)	<知識> 副詞節の意味や働きについて理解している。(TASK-C/D) <技能> 副詞節を用いて、リーダーのあるべき姿について、話す技能を身につけている。(TASK-C/D)	<知識> 副詞節の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 副詞節を用いて、リーダーの資質について、書く技能を身につけている。(TASK-B)
	<b>a</b>	副詞節を適切に用いて、リーダーシップを発揮するときについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	<b>a</b> 副詞節の表現を適切に用いて、リーダーのあるべき姿について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	<b>a</b> 副詞節を用いて、リーダーの資質について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	<b>b</b>	副詞節を用いて、リーダーシップを発揮するときについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	<b>b</b> 副詞節の表現を適切に用いて、リーダーのあるべき姿について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	<b>b</b> 副詞節を用いて、リーダーの資質について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、副詞節を用いて、リーダーシップを発揮するときについて、何とか英語で伝え合うことができる。	<b>c</b> 助けがあれば、副詞節の表現を用いて、リーダーのあるべき姿について、何とか英語で話すことができる。	<b>c</b> 助けがあれば、副詞節を用いて、リーダーの資質について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	<b>目標</b>	リーダーの資質についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(SHARE)	リーダーの資質についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	リーダーの資質についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	<b>a</b>	リーダーの資質についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	<b>a</b> リーダーの資質についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	<b>a</b> リーダーの資質についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。
	<b>b</b>	リーダーの資質についての情報を、話して伝え合うことができる。	<b>b</b> リーダーの資質についての情報を、話すことができる。	<b>b</b> リーダーの資質についての考えを、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、リーダーの資質についての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	<b>c</b> 助けがあれば、リーダーの資質についての情報を、話すことができる。	<b>c</b> 助けがあれば、リーダーの資質についての考えを、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	<b>目標</b>	リーダーの資質についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	リーダーの資質についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	リーダーの資質についての考えを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	<b>a</b>	リーダーの資質についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	<b>a</b> リーダーの資質についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	<b>a</b> リーダーの資質についての考えを、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	<b>b</b>	リーダーの資質についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	<b>b</b> リーダーの資質についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	<b>b</b> リーダーの資質についての考えを、書こうとする態度が見られる。
	<b>c</b>	助けがあれば、リーダーの資質についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	<b>c</b> 助けがあれば、リーダーの資質についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	<b>c</b> 助けがあれば、リーダーの資質についての考えを、何とか書こうとする態度が見られる。

# be English Logic and Expression II Smart New Edition

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。  
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

## LESSON 10 Introducing Japan

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較表現を正しく用いて表現することができる。</li> <li>日本を紹介することについて話したり書いたりすることができる。</li> <li>意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。</li> </ul>
-------------	--

		話す (やり取り)	話す (発表)	書く
知識・技能	<b>目標</b>	<知識> 比較表現の意味や働きについて理解している。(TASK-A/C) <技能> 比較表現を用いて、海外の友だちをどこに連れていか、何の食べ物すすめるかについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A/C)	<知識> 比較表現の意味や働きについて理解している。(TASK-B/D) <技能> 比較表現を用いて、海外の友だち何のお土産をすすめるかについて、話す技能を身につけている。(TASK-B/D)	<知識> 比較表現の意味や働きについて理解している。(WRITE) <技能> 比較表現を用いて、外国人旅行者におすすめの活動について、書く技能を身につけている。(WRITE)
	<b>a</b>	比較表現を適切に用いて、海外の友だちをどこに連れていか、何の食べ物すすめるかについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	比較表現の表現を適切に用いて、海外の友だち何のお土産をすすめるかについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	比較表現を用いて、外国人旅行者におすすめの活動について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	<b>b</b>	比較表現を用いて、海外の友だちをどこに連れていか、何の食べ物すすめるかについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	比較表現の表現を適切に用いて、海外の友だち何のお土産をすすめるかについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	比較表現を用いて、外国人旅行者におすすめの活動について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、比較表現を用いて、海外の友だちをどこに連れていか、何の食べ物すすめるかについて、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、比較表現の表現を用いて、海外の友だち何のお土産をすすめるかについて、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、比較表現を用いて、外国人旅行者におすすめの活動について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	<b>目標</b>	2つの体験のどちらがいいかについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(SHARE)	2つの体験のどちらがいいかについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	外国人旅行者におすすめの活動についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	<b>a</b>	2つの体験のどちらがいいかについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	2つの体験のどちらがいいかについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	外国人旅行者におすすめの活動についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	<b>b</b>	2つの体験のどちらがいいかについての情報を、話して伝え合うことができる。	2つの体験のどちらがいいかについての情報を、話すことができる。	外国人旅行者におすすめの活動についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、2つの体験のどちらがいいかについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、2つの体験のどちらがいいかについての情報を、話すことができる。	助けがあれば、外国人旅行者におすすめの活動についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	<b>目標</b>	2つの体験のどちらがいいかについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	2つの体験のどちらがいいかについての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	外国人旅行者におすすめの活動についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	<b>a</b>	2つの体験のどちらがいいかについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	2つの体験のどちらがいいかについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	外国人旅行者におすすめの活動についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	<b>b</b>	2つの体験のどちらがいいかについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	2つの体験のどちらがいいかについての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	外国人旅行者におすすめの活動についての情報を、書こうとする態度が見られる。
	<b>c</b>	助けがあれば、2つの体験のどちらがいいかについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、2つの体験のどちらがいいかについての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、外国人旅行者におすすめの活動についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

# be English Logic and Expression II Smart New Edition

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目をお使いください。  
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

## LESSON 11 Making Innovation Happen

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮定法を正しく用いて表現することができる。</li> <li>・イノベーションについて話したり書いたりすることができる。</li> <li>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。</li> </ul>
-------------	--

		話す (やり取り)	話す (発表)	書く		
知識・技能	<b>目標</b>	<知識> 仮定法の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 仮定法を用いて、「もし校長なら」についての考えを、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A)	<b>目標</b> <知識> 仮定法の意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 仮定法を用いて、与えられたトピックについて、話す技能を身につけている。(TASK-C)	<b>目標</b> <知識> 仮定法の意味や働きについて理解している。(TASK-B/D) <技能> 仮定法を用いて、どんな技術が社会問題を解決しうるかについて、書く技能を身につけている。(TASK-B/D)		
	<b>a</b>	仮定法を適切に用いて、「もし校長なら」についての考えを、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	<b>a</b>	仮定法の表現を適切に用いて、与えられたトピックについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	<b>a</b>	仮定法を用いて、どんな技術が社会問題を解決しうるかについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	<b>b</b>	仮定法を用いて、「もし校長なら」についての考えを、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	<b>b</b>	仮定法の表現を適切に用いて、与えられたトピックについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	<b>b</b>	仮定法を用いて、どんな技術が社会問題を解決しうるかについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、仮定法を用いて、「もし校長なら」についての考えを、何とか英語で伝え合うことができる。	<b>c</b>	助けがあれば、仮定法の表現を用いて、与えられたトピックについて、何とか英語で話すことができる。	<b>c</b>	助けがあれば、仮定法を用いてどんな技術が社会問題を解決しうるかについて、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	<b>目標</b>	「もし校長なら」についての考えを、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A)	<b>目標</b>	日本にあつたらいいと思うものについて、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	<b>目標</b>	世界に役立つ革新技術についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	<b>a</b>	「もし校長なら」についての考えを、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	<b>a</b>	日本にあつたらいいと思うものについて、論理的に詳しく話すことができる。	<b>a</b>	世界に役立つ革新技術についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。
	<b>b</b>	「もし校長なら」についての考えを、話して伝え合うことができる。	<b>b</b>	日本にあつたらいいと思うものについて、話すことができる。	<b>b</b>	世界に役立つ革新技術についての考えを、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、「もし校長なら」についての考えを、何とか話して伝え合うことができる。	<b>c</b>	助けがあれば、日本にあつたらいいと思うものについて、話すことができる。	<b>c</b>	助けがあれば、世界に役立つ革新技術についての考えを、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	<b>目標</b>	「もし校長なら」についての考えを、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A)	<b>目標</b>	日本にあつたらいいと思うものについて、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	<b>目標</b>	世界に役立つ革新技術についての考えを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	<b>a</b>	「もし校長なら」についての考えを、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	<b>a</b>	日本にあつたらいいと思うものについて、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	<b>a</b>	世界に役立つ革新技術についての考えを、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	<b>b</b>	「もし校長なら」についての考えを、伝え合う姿勢が見られる。	<b>b</b>	日本にあつたらいいと思うものについて、話そうとする姿勢が見られる。	<b>b</b>	世界に役立つ革新技術についての考えを、書こうとする態度が見られる。
	<b>c</b>	助けがあれば、「もし校長なら」についての考えを、何とか伝え合う姿勢が見られる。	<b>c</b>	助けがあれば、日本にあつたらいいと思うものについて、何とか話そうとする姿勢が見られる。	<b>c</b>	助けがあれば、世界に役立つ革新技術についての考えを、何とか書こうとする態度が見られる。

# be English Logic and Expression II Smart New Edition

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目をお使いください。  
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

## LESSON 12 Embracing Diversity in Society

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・that節や語法などを正しく用いて表現することができる。</li> <li>・多様性を受け入れる社会について話したり書いたりすることができる。</li> <li>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。</li> </ul>
-------------	---

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
知識・技能	<b>目標</b>	<知識> that節や語法などの意味や働きについて理解している。(TASK-A/B) <技能> that節や語法などを用いて、インクルーシブでない状況を改善する方法について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A/B)	<知識> that節や語法などの意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> that節や語法などを用いて、困っている人を助けるために何をするかについて、話す技能を身につけている。(TASK-C)	<知識> that節や語法などの意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> that節や語法などを用いて、差別について、書く技能を身につけている。(TASK-D)
	<b>a</b>	that節や語法などを適切に用いて、インクルーシブでない状況を改善する方法について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	that節や語法などの表現を適切に用いて、困っている人を助けるために何をするかについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	that節や語法などを用いて、差別について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	<b>b</b>	that節や語法などを用いて、インクルーシブでない状況を改善する方法について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	that節や語法などの表現を適切に用いて、困っている人を助けるために何をするかについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	that節や語法などを用いて、差別について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、that節や語法などを用いて、インクルーシブでない状況を改善する方法について、何とか英語で伝え合うことができる。	助けがあれば、that節や語法などの表現を用いて、困っている人を助けるために何をするかについて、何とか英語で話すことができる。	助けがあれば、that節や語法などを用いて差別について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	<b>目標</b>	インクルーシブでない状況を改善する方法について、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A/B)	自由で公平な社会について、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	インクルーシブ社会の実現について、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	<b>a</b>	インクルーシブでない状況を改善する方法について、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	自由で公平な社会について、論理的に詳しく話すことができる。	インクルーシブ社会の実現について、論理的に詳しく書くことができる。
	<b>b</b>	インクルーシブでない状況を改善する方法について、話して伝え合うことができる。	自由で公平な社会について、話すことができる。	インクルーシブ社会の実現について、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、インクルーシブでない状況を改善する方法について、何とか話して伝え合うことができる。	助けがあれば、自由で公平な社会について、話すことができる。	助けがあれば、インクルーシブ社会の実現について、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	<b>目標</b>	インクルーシブでない状況を改善する方法について、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A/B)	自由で公平な社会について、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	インクルーシブ社会の実現について、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	<b>a</b>	インクルーシブでない状況を改善する方法について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	自由で公平な社会について、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	インクルーシブ社会の実現について、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	<b>b</b>	インクルーシブでない状況を改善する方法について、伝え合う姿勢が見られる。	自由で公平な社会について、話そうとする姿勢が見られる。	インクルーシブ社会の実現について、書こうとする態度が見られる。
	<b>c</b>	助けがあれば、インクルーシブでない状況を改善する方法について、何とか伝え合う姿勢が見られる。	助けがあれば、自由で公平な社会について、何とか話そうとする姿勢が見られる。	助けがあれば、インクルーシブ社会の実現について、何とか書こうとする態度が見られる。

# be English Logic and Expression II Smart New Edition

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目をお使いください。  
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

## LESSON 13 Tourism and Japanese Society

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・存在や変化を表す表現を正しく用いて表現することができる。</li> <li>・観光と日本社会について話したり書いたりすることができる。</li> <li>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。</li> </ul>
-------------	---

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く
知識・技能	<b>目標</b>	<知識> 存在や変化を表す表現の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 存在や変化を表す表現を用いて、観光地への行き方と所要時間について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-D)	<知識> 存在や変化を表す表現の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 存在や変化を表す表現を用いて、観光地の人気の理由について、話す技能を身につけている。(TASK-B)	<知識> 存在や変化を表す表現の意味や働きについて理解している。(TASK-A/C) <技能> 存在や変化を表す表現を用いて、観光地の説明や歴史について、書く技能を身につけている。(TASK-A/C)
	<b>a</b>	存在や変化を表す表現を適切に用いて、観光地への行き方と所要時間について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	<b>a</b> 存在や変化を表す表現の表現を適切に用いて、観光地の人気の理由について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	<b>a</b> 存在や変化を表す表現を用いて、観光地の説明や歴史について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	<b>b</b>	存在や変化を表す表現を用いて、観光地への行き方と所要時間について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	<b>b</b> 存在や変化を表す表現の表現を適切に用いて、観光地の人気の理由について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	<b>b</b> 存在や変化を表す表現を用いて、観光地の説明や歴史について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、存在や変化を表す表現を用いて、観光地への行き方と所要時間について、何とか英語で伝え合うことができる。	<b>c</b> 助けがあれば、存在や変化を表す表現の表現を用いて、観光地の人気の理由について、何とか英語で話すことができる。	<b>c</b> 助けがあれば、存在や変化を表す表現を用いて、観光地の説明や歴史について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	<b>目標</b>	外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(SHARE)	外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	<b>目標</b> 日本の旅行を楽しむための情報について、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	<b>a</b>	外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	<b>a</b> 外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	<b>a</b> 日本の旅行を楽しむための情報について、論理的に詳しく書くことができる。
	<b>b</b>	外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、話して伝え合うことができる。	<b>b</b> 外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、話すことができる。	<b>b</b> 日本の旅行を楽しむための情報について、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	<b>c</b> 助けがあれば、外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、話すことができる。	<b>c</b> 助けがあれば、日本の旅行を楽しむための情報について、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	<b>目標</b>	外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	<b>目標</b> 日本の旅行を楽しむための情報について、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	<b>a</b>	外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	<b>a</b> 外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	<b>a</b> 日本の旅行を楽しむための情報について、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	<b>b</b>	外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	<b>b</b> 外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	<b>b</b> 日本の旅行を楽しむための情報について、書こうとする態度が見られる。
	<b>c</b>	助けがあれば、外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	<b>c</b> 助けがあれば、外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	<b>c</b> 助けがあれば、日本の旅行を楽しむための情報について、何とか書こうとする態度が見られる。

# be English Logic and Expression II Smart New Edition

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。  
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

## LESSON 14 Food and Health

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使役動詞や知覚動詞を正しく用いて表現することができる。</li> <li>・食と健康について話したり書いたりすることができる。</li> <li>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。</li> </ul>
-------------	---

		話す（やり取り）	話す（発表）	書く		
知識・技能	<b>目標</b>	<知識> 使役動詞や知覚動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A/C) <技能> 使役動詞や知覚動詞を用いて、朝食を抜くことの影響について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A/C)	<b>目標</b>	<知識> 使役動詞や知覚動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-B/C) <技能> 使役動詞や知覚動詞を用いて、食と健康に関するアドバイスについて、話す技能を身につけている。(TASK-B/C)	<b>目標</b>	<知識> 使役動詞や知覚動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 使役動詞や知覚動詞を用いて、健康的な生活を送るためにとるべき行動について、書く技能を身につけている。(TASK-D)
	<b>a</b>	使役動詞や知覚動詞を適切に用いて、朝食を抜くことの影響について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	<b>a</b>	使役動詞や知覚動詞の表現を適切に用いて、食と健康に関するアドバイスについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	<b>a</b>	使役動詞や知覚動詞を用いて、健康的な生活を送るためにとるべき行動について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	<b>b</b>	使役動詞や知覚動詞を用いて、朝食を抜くことの影響について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	<b>b</b>	使役動詞や知覚動詞の表現を適切に用いて、食と健康に関するアドバイスについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	<b>b</b>	使役動詞や知覚動詞を用いて、健康的な生活を送るためにとるべき行動について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、使役動詞や知覚動詞を用いて、朝食を抜くことの影響について、何とか英語で伝え合うことができる。	<b>c</b>	助けがあれば、使役動詞や知覚動詞の表現を用いて、食と健康に関するアドバイスについて、何とか英語で話すことができる。	<b>c</b>	助けがあれば、使役動詞や知覚動詞を用いて、健康的な生活を送るためにとるべき行動について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	<b>目標</b>	健康にいい食事についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(SHARE)	<b>目標</b>	健康にいい食事についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	<b>目標</b>	健康的な食習慣についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	<b>a</b>	健康にいい食事についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	<b>a</b>	健康にいい食事についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。	<b>a</b>	健康的な食習慣についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。
	<b>b</b>	健康にいい食事についての情報を、話して伝え合うことができる。	<b>b</b>	健康にいい食事についての情報を、話すことができる。	<b>b</b>	健康的な食習慣についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、健康にいい食事についての情報を、何とか話して伝え合うことができる。	<b>c</b>	助けがあれば、健康にいい食事についての情報を、話すことができる。	<b>c</b>	助けがあれば、健康的な食習慣についての情報を、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	<b>目標</b>	健康にいい食事についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	<b>目標</b>	健康にいい食事についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	<b>目標</b>	健康的な食習慣についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	<b>a</b>	健康にいい食事についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	<b>a</b>	健康にいい食事についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	<b>a</b>	健康的な食習慣についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	<b>b</b>	健康にいい食事についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。	<b>b</b>	健康にいい食事についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。	<b>b</b>	健康的な食習慣についての情報を、書こうとする態度が見られる。
	<b>c</b>	助けがあれば、健康にいい食事についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。	<b>c</b>	助けがあれば、健康にいい食事についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。	<b>c</b>	助けがあれば、健康的な食習慣についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。

# be English Logic and Expression II Smart New Edition

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目をお使いください。  
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

## LESSON 15 Issues Facing the World

<b>単元目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語らしい表現方法を正しく用いて表現することができる。</li> <li>・世界が抱える問題について話したり書いたりすることができる。</li> <li>・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。</li> </ul>
-------------	---

		話す (やり取り)	話す (発表)	書く		
知識・技能	<b>目標</b>	<知識> 英語らしい表現方法の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 英語らしい表現方法を用いて、食品廃棄を減らす方法について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-B)	<b>目標</b> <知識> 英語らしい表現方法の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 英語らしい表現方法を用いて、イグラフが示す問題とその解決策について、話す技能を身につけている。(TASK-A)	<b>目標</b> <知識> 英語らしい表現方法の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 英語らしい表現方法を用いて、食品廃棄物削減について、書く技能を身につけている。(TASK-D)		
	<b>a</b>	英語らしい表現方法を適切に用いて、食品廃棄を減らす方法について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	<b>a</b>	英語らしい表現方法の表現を適切に用いて、イグラフが示す問題とその解決策について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	<b>a</b>	英語らしい表現方法を用いて、食品廃棄物削減について、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	<b>b</b>	英語らしい表現方法を用いて、食品廃棄を減らす方法について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	<b>b</b>	英語らしい表現方法の表現を適切に用いて、イグラフが示す問題とその解決策について、ほぼ正しい英語で話すことができる。	<b>b</b>	英語らしい表現方法を用いて、食品廃棄物削減について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、英語らしい表現方法を用いて、食品廃棄を減らす方法について、何とか英語で伝え合うことができる。	<b>c</b>	助けがあれば、英語らしい表現方法の表現を用いて、イグラフが示す問題とその解決策について、何とか英語で話すことができる。	<b>c</b>	助けがあれば、英語らしい表現方法を用いて食品廃棄物削減について、何とか書くことができる。
思考・判断・表現	<b>目標</b>	問題解決のアイデアを、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(SHARE)	<b>目標</b>	問題解決のアイデアを、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE)	<b>目標</b>	社会問題と解決策について、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE)
	<b>a</b>	問題解決のアイデアを、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	<b>a</b>	問題解決のアイデアを、論理的に詳しく話すことができる。	<b>a</b>	社会問題と解決策について、論理的に詳しく書くことができる。
	<b>b</b>	問題解決のアイデアを、話して伝え合うことができる。	<b>b</b>	問題解決のアイデアを、話すことができる。	<b>b</b>	社会問題と解決策について、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	<b>c</b>	助けがあれば、問題解決のアイデアを、何とか話して伝え合うことができる。	<b>c</b>	助けがあれば、問題解決のアイデアを、話すことができる。	<b>c</b>	助けがあれば、社会問題と解決策について、何とか書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	<b>目標</b>	問題解決のアイデアを、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	<b>目標</b>	問題解決のアイデアを、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE)	<b>目標</b>	社会問題と解決策について、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE)
	<b>a</b>	問題解決のアイデアを、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	<b>a</b>	問題解決のアイデアを、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	<b>a</b>	社会問題と解決策について、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	<b>b</b>	問題解決のアイデアを、伝え合う姿勢が見られる。	<b>b</b>	問題解決のアイデアを、話そうとする姿勢が見られる。	<b>b</b>	社会問題と解決策について、書こうとする態度が見られる。
	<b>c</b>	助けがあれば、問題解決のアイデアを、何とか伝え合う姿勢が見られる。	<b>c</b>	助けがあれば、問題解決のアイデアを、何とか話そうとする姿勢が見られる。	<b>c</b>	助けがあれば、社会問題と解決策について、何とか書こうとする態度が見られる。